

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	大東市家庭教育支援チーム (呼称:「つぼみ」)
②活動拠点	大東市教育委員会事務局 教育総務部 家庭・地域教育課
③活動範囲	大東市
④組織体制	<p>92 人(令和7年1月現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSW 12人 ・行政職員 12人 ・市民 68人
⑤活動開始年度	平成28年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 大東市教育委員会事務局 教育総務部 家庭・地域教育課 (TEL)072-800-7760 (E-mail) k_shien@city.daito.lg.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">}</div> <div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> <input checked="" type="checkbox"/>自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/>保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/>その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) </div> </div> <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 <p style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <p>○家庭教育に関する状況把握調査をもとにしたアウトリーチ活動。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月頃、小学1年生のいる家庭を対象に家庭教育に関する状況把握調査を実施。担任の先生より配布してもらい、集計した内容から保護者の悩みやニーズを把握し、活動に活かす。 ・ 対象となる全家庭に対し、上記調査の内容を確認のうえ、保護者の希望により電話または家庭訪問を実施し、保護者の悩みを傾聴し、その後の支援に活かす。また、担任の先生等とも情報を共有する。 ・ 10月頃、小学4年生のいる家庭を対象に家庭教育に関する状況把握調査を実施。集計した内容から保護者の悩みやニーズを把握するだけでなく、1年生と4年生及び経年データと比較、傾向や課題を分析し、家庭の支援に活かす。また、担任の先生等とも情報を共有する。 <p>○保護者が学び、ほっと一息つく場「いくカフェ」の開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 親子の片付けや姿勢について等テーマを決め、家庭教育について学び考えるきっかけとなる場を提供する。 <p>各小学校区で開催する「地域いくカフェ」、不登校に悩む保護者などターゲットを絞り市教委で開催する「市教委いくカフェ」、家庭教育応援協力企業等に登録していただいた企業・団体に委託して、企業・団体の持つノウハウ等を活かして開催する「企業版いくカフェ」の3つを展開している。</p> <p>○家庭教育応援企業等登録制度。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭教育を応援する企業等に制度に登録してもらい、店舗等にステッカーを貼付してもらい、保護者や子ども、地域に対して家庭教育を応援する活動を進めてもらう。 <p>○家庭教育講演会や思春期保護者向けセミナーの開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広く市民に向け、家庭教育の重要性を啓発する機会とし、まちをあげて家庭教育を応援する機運を醸成するため講演会を年1回開催している。 ・ 思春期を迎える生徒の保護者に対する支援として、思春期特有の悩みに対処する方法などについて学べるセミナー令和5年度より年4、5回開催している。
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<p>○状況把握調査の結果を受け、保護者の悩みをリアルタイムに把握することができ、その後の家庭訪問等において、新たに相談をうけて支援につなげることができた。</p> <p>○状況把握調査やアウトリーチ活動により判明した支援が必要な可能性があったり、相談相手が必要と思われる保護者を「いくカフェ」へ案内するアプローチを行い、一部の保護者が参加してくれた。</p> <p>○令和4年度より開始した家庭教育応援登録企業・団体等に委託して開催している「企業版いくカフェ」の実施地域や回数が増加し、参加者も増加してきている。</p>

	<p>○状況把握調査の結果を基に保護者の悩みや関心があるテーマに沿って講演会を開催し、参加者から概ね良い反応を得られた。</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>文部科学省補助事業(事業名:学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金)</p> <p><input type="checkbox"/>文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>厚生労働省事業(事業名:生活困窮者就労準備支援事業費等補助金)</p> <p><input type="checkbox"/>地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/>特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input type="checkbox"/>その他の支援により活動を実施 ()</p>